



2022 ~ 2023 年度
東京江東ワイズメンズクラブブリティン

MAR 3

You'll never walk alone
~仲間とともに

東京江東クラブ会長 大原真之介



今月の強調テーマ
＜CS、Green Project、
ワイズメネット＞

主題「輝かそう、あなたの光を」 スローガン「良いコミュニケーションは、全
ての協力関係の基礎である」

国際会長 ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン (台湾)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

東日本区理事 佐藤重良 (甲府 21)

「新規技術 (テクノロジー) を縦横に 駆使し、効率を重んじる。すべては、プレ
ミアムな価値と体験を産むために」「成せば、成る」「No challenge, No fruit”

関東東部部長 工藤大丈 (東京ベイサイド)

「おかえり」と言える環境
を創るために

滝沢圭太

ワイズメンズクラブにおける地域奉仕 (Community Service) とは誰に向けた活動なのか、今回コラムを執筆することで、少し考える機会をいただきました。

まず、YMCA におけるステークホルダーは誰なのか考えてみました。職員や先生、園児、メンバー、リーダー、OB/OG、メンバーの父母さん、ワイズメンズクラブ、地域の子どもたちや父母さんなど、非常に多岐に渡っています。うーん…ワイズメンズクラブの地域奉仕は誰に対しても対象となりうる印象があるので、少し視点を絞ってみます。

かつて自身がリーダーをしていた時に、YMCA の顧客って誰なんだろうと議論したことがありました。顧客=「園児やメンバー」という派と「(園児やメンバーの) 父母さん」という派だったように思います。その時自分はどっち派だったか覚えていないのですが、いま改めて考えるとお金を出して活動に参加させてくれる父母さんなのではないかと思いました。もちろん、目の前の子どもたちが楽しんでもらえたり、思い出に残す活動になったりすることはとても大事です。でも子どもたちがそういう状況になることを誰よりも望んで、心待ちにしているのはお父さんやお母さんではないでしょうか (自分が親になったからかもしれませんが笑)。

最近、自身がリーダーの時に行っていた、活動前のグループリーダーからの電話やパーレコ (※) というものがどれだけすごいシステムか、親になって思い知りました。他の活動でこんなに子どもたちがワクワクしている状態を目の前で見ることができたり、事後に自分の子がどんな状況だったかを教えてもらえたりする仕組みは他に類を見ません。また、先日現役リーダー (私が関わった元メンバー) と会話したときに、私がリーダー時代に書いたパーレコをお母さんが大事に持っていることを話してくれました。それを聞いて嬉しさと恥ずかしさを覚えつつも、「保存する」という行為に強く共感しました。日々目の前の子どもたちが成長するなかで、自分の子どもがどんな状態だったかをメモすることは相当意識をしていない限りやれることではありません。それが活動ログとして残っていて、大きくなった時に子どもの軌跡として確認できるなんて、考えるだけでも泣いてしまいそうです。それだけ父母さんに子どもの様子を伝えてあげられること、というのは大事だと感じました。

ここでは、そんな思い出を抱えた親や子どもたちが卒園 / 卒業などで一度 YMCA を離れても、体験したのが一度きりだったとしても、メンバー



やリーダー、ワイズメンとして戻ってこられる環境があります。また「おかえり」と言ってもらえる環境が整っています。私たちが日々の CS 活動を通じて、関わったステークホルダーの皆さんに「おかえり」と言える環境をいつまでも創り続けていくことが、CS 活動の真の狙いなのかもしれません。

※パーソナルレコードの略。キャンプや野外活動を終えて、その活動全体の様子や子どもの様子を数行書いて親御さんに送付するもの。

3 月本例会 (役員会同日開催)

とき	2022 年 3 月 25 日 (土)	11:00 ~ 役員会 12:00 ~ 本例会
ところ	江東YMCA	役員会 ロビー 本例会 園庭 (雨天ホワイトハウス)
役員会		役員、出席者にて協議
本例会		
開会点鐘		会長 大原真之介君
プログラム		
会長挨拶		会長 大原真之介君
各種報告		
食前の祈り		小松康広君
乾杯		
2 月例会 (江東ワイズサミット) 振り返り		
ハッピーバースデー・結婚記念日		
閉会点鐘		会長 大原真之介君

【ハッピーバースデー】

10 日 香取良和君 22 日 安齋克茂君 26 日 滝沢圭太君

【結婚記念日】

23 日 菅原創・陽子夫妻

今月の聖句

『わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。』 ヨハネの手紙 — 4 章 10 節

2 月会員数	2 月出席者	2 月出席率	アクティブファンド		ニコニコボックス		クラブ役員	
23 名	メンバー 17 名 メネット 0	76% (16/21)	12 月まで	1276785	12 月まで	62000	会長	大原真之介
内広義会員 2 名	コメット 0		1 月分	0	1 月例会分	0	副会長	小松重雄
休会 0 名	ゲスト ビジター		残高	1266785	1 月その他	0	会計	高橋由起江
					累計	62000	書記	相川達男
							直前会長	島田徹
							連絡主事	小松康広

ワイズサミット総括

大原真之介



江東ワイズとしては、珍しく、本例会でディスカッションの場を設けました。

ようやくアクティブな活動が可能となっていく中でメンバーがより楽しく、意志を持って今後も活動を続ける為に、また本当は負担に感じていることや疑問に感じる事などを回答しやすい様"まるバツゲーム"方式で参考データを抽出する事から始め議論を進めていきました。(同時進行でデータ入力と議事録を入力し視覚化してくれた滝沢ワイズ！感謝感謝です)議論を進めていく中で、やはりそこは百戦錬磨の

江東ワイズメンのパネラー皆さん！！話題は途切れる事なく笑いも交え繰り広げられました。

決定事項として何か本紙面に発表できるまでには至っておりませんが(機密内容もあり笑)やっぱり江東ワイズ楽しいぞ！！とわくわく思える様な例会となりました。。

トピックスとして、江東ワイズはいつも担当主事に恵まれているか？というQに対しては、村度無しで満場一致100%の〇(マル)回答でした。私も心からその様に思います。本当にいつもありがとうございます。

結果的に80%を超える出席率と約30問の本音データを抽出出来たことは大きな成果だったと思います。サミットの延長戦は清澄白河の某隠れ家のお食事所にて午前0時頃まで続きました。。皆様お疲れ様でした！！

2月本例会(ワイズサミット例会)報告

島田徹

私の記憶が正確ならば、ワイズメンバーになってから、2月は食事をしないタイムオブファスト例会で1回の食事代を献金する、そして早めに例会を終え二次会に行つて語らうという形式だったのですが。

今回ワイズサミットというメンバーのワイズに対する率直な考えを吐露？する画期的な例会をあえて行った大原会長に賛辞を送りたいと思います。

最初にテーマを記入してから、各々意見を聞くにつけ、ベテランメンバーがワイズをまとめる上部団体(関東東部や、日本会世界)に出席や協賛を厭わないスタンスに対し、若いメンバーの柔軟な考え方は新鮮でメンバーの新陳代謝がないと、いつまでもこのままで、江東ワイズでさえも先細りになってしまい未来がないと思ったのは私だけではないと思います。願わくば昔のようにほぼ全員のメンバーが参加出来たら良かったけど、次に繋がると第一歩でありました。

東西日本区交流会

藤井寛敏

2月4日安齋さんとたまにはグリーン車でと神戸へ。お昼頃会場のホテルに到着。山の中腹にある丹下さんの設計らしくど



こがどこか分からずにくろくろしていたら十勝の山田さんと中村さんにばったり、昼でも食べようかということで何を食べたか忘れてしまったが昼食を。ど

うやら会場にたどり着くとロータリー、ライオンズ、キワニス、ワイズの4国際奉仕団体のフォーラムが始まっていた。どの団体も高齢化、会員の減少が当面の課題となっており、若者に目を向けているように感じた。我々の代表の旧知の田上西日本区理事の堂々とした、分かりやすい話しぶりや熊本の上村書記のしっかりとした司会に留飲を下げた。オープンセレモニーに続き、東西日本区の25年の歩みが紹介され、次にワイズ100年の記念事業のうちのアジアでの事業が紹介されたあと、京都パレスクラブを中心とした「ラオスにワイズを」目指してという運動でまずラオスにYMCAのホテル学校の建設構想が発表された。プログラム終了後の懇親会は東西両ワイズメンが同じテーブルにつき懇親を深めた。2次会は京都ウエストクラブ関連のワイズの集まりに入れてもらった。

翌日のプログラムは参加者が一杯であぶれてしまい、昔60周年で訪れた神戸YMCAに匂いをかぎ、かぎ、偶然にもたどり着きSong Festで素晴らしい歌声に聞き入った。昼からは三ノ宮で有名なラーメン屋さんへ行き、そのあと神戸市の博物館で神戸の勉強を少しして神戸電鉄で有馬温泉へ、褐色の銀湯に浸かりゆったりと一晩を過ごした。

翌日は有馬には階段つきのお寺しかないとのことであらかじめ神戸に戻り「神戸Beef」の真似事のランチを取り、あとはどうしたか思い出せずに3時過ぎの新幹線で東京へ戻った。交流会は小生が東日本区理事の時以来3回目だが久しぶりに西日本区の方たちと旧交を温めた楽しい3日間であったが西にDBCがないのにはちょっと寂しかった。

ファミリーキャンプ

高橋由起江



久しぶりに復活のファミリースキーキャンプ。参加されたのは8ファミリーに私を含めたOBOGリーダーと小松さん(こまっちょ)。ワイズは大原会長と相川さんそして堀さんがお子さんたちを連れて参加してくださいました。

今回のファミリースキーはシャトー塩沢スキー場の富徳旅館に泊まりました。バスプロではいつものように家族の紹介をしたり、ゲームや歌を歌い、初日の午後はスキー&雪遊びタイム。懐かしいシャトー塩沢スキー場。スキーが滑れる子はリーダーや家族と何回も何回も滑って楽しく過ごし、初めてやる子の中にはその日のうちに頑張ってリフトに挑戦したり、小さいお友だちはスキーの練習に、ソリや雪遊びをして、それぞれに

スキーや雪遊びを楽しみました。夕食後のファミリーゲーム大会では家族で協力するゲームをしたり、夜には大人の懇親会で保護者の方たちとも楽しい時間を過ごしました（これがあるのが大事）2日目は朝から雨模様で、宿の中での朝の集い。スキーへ行くのはやめ、みんなでゲーム大会をしてすごしました。たった2日で子どもたちはとっても仲良くなり宿の中や各部屋を行ったり来たりとっても楽しそうでした。

いつもファミリーキャンプで使わせていただいていた山文旅館は昨年閉業されていて、私は今まで何度も行かせて頂いていたのですが、一緒に行っていた大原さんと相川さんと少し立ち寄りさせて頂きました。15年ほど前に行ったファミリーキャンプの後YMCAの入口に掲示するために作ったボードを相川さんの奥様が保管してくださっており、それを今回相川さんが持ってきて下さり、山文旅館へそのボードを贈らせて頂きました。少しの時間でしたがお父さんとお母さんの元気な顔も見ることができ行くことができて本当に良かったです。

帰りはお土産を買ったりお昼ご飯をパーキングで食べながら帰りバスではゲームをしたり歌を歌ったりして、最後は園庭でみんなでチクサクをして解散しました。とってもあったかい気持ちになるキャンプでした。

ファミリーキャンプまた来年もできたらいいです（^^）

2023年2月 役員議事録

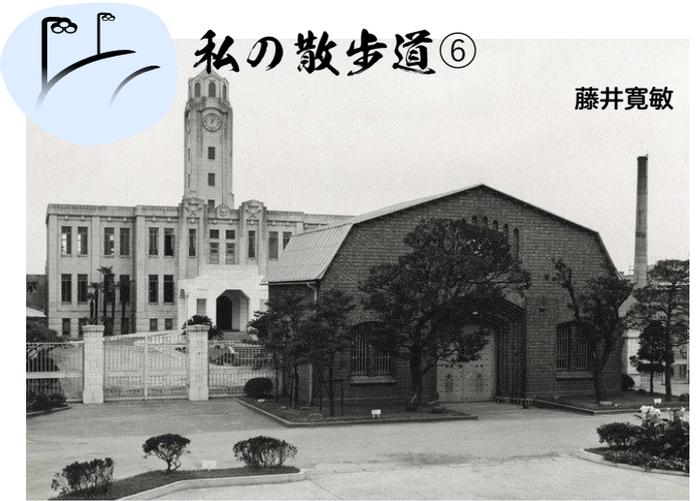
2月22日（木）YMCA 江東センター ZOOMハイブリッド 19:00～
議題

- 100周年台湾訪問に関して
江東からは藤井さん、安齋さん、山崎さんが出席。
訪台の支援金としてファンドより支援。
台中宛てのお土産は山崎さんに一任。先方人数を山崎さんが確認。
- 3月 桜例会に関して
リーダーOBと同日開催も検討。当日、幼稚園先生、スタッフ登園している為こちらにも声がけする。お弁当→いつもより少し良い物
- グリーン50周年に関して
祝い金 → 当クラブ60周年時を参照。
- その他
2月江東ワイズサミット振り返り → 第1例会でメンバーと話す。
出席者 酒向、山崎、小松Y、高橋、藤井、小松S、宇田川、相川

2023年2月 第1例会議事録

2月2日（木）YMCA 江東センター ZOOMハイブリッド 19:00～
議題

- 2月本例会（話し合い例会）に関して
・場所はYMCAコミュニティセンターとする。
・ワイズの活動の今後や役割分担についてざっくりばらんに話し合いをする機会としたい。 ・司会：大原会長 ・食事はパンとワイン
- 次期役員に関して
会長より経過報告 ・役員は来期も留任することで区に報告済み
- 1月役員会協議事項報告
東京YMCA子育て講演会協賛の件 ・5,000円協賛する。
グリーンクラブ50周年記念例会参加者の件 ・6名参加確定
ワイズカップサッカーの件
・辰巳公園で実施決定（豚汁は実施不可）
・ワイズから景品等のために80,000円拠出（予算通り）
- 3月例会の件 「桜を愛でる例会」とする。3/25（土）に幼稚園で実施。
- その他
関東東部から国際事業主査選出の依頼について
・鈴木さんに依頼して快諾
出席者 大原、藤井、小松S、島田、小松Y、酒向、山崎、鈴木、相川



私の散歩道⑥

藤井寛敏

学校の正門を出て東に行くときすぐN本A君の家、お父さんは国鉄勤めだったか、彼はW中学へ行ったが相撲では技は全然できないがもろ差して両腕をまっすぐに伸ばしての押し相撲が得意だった。その何年前かに表札が同じ苗字だったのでがきで彼の住所を聞いたが返事はなかった。先にK野？君の家、K桐S君の家があった。公園の出口に戻って東側へ行くとき水処理センターと法務省の研修会館を区切る道がある。会館の敷地の中にお稲荷さんがあって10年ほど前までお参りができたのがいまは工事でできない。道に沿って周囲3mくらいの大きなヒマラヤ杉が2本ある。10年位前、前の犬のギンと散歩した道だ。その先の右側の会館の土地に刑務所の表門が残されている。1915年大正時代の建築家後藤慶二氏の設計により建築され、現在中野区の文化財に指定されている。3年後の同所が野方小学校になるため移転により別の場所への移転が検討されているようだ。刑務所の塔は覚えていたが正門の記憶はないというより見たことがなかったのだろう。（刑務所の表門と塔の写真）

東に進むと旧刑務所通り（今は和平の森公園通り）にぶつかり中野駅方面に右折（南へ）する。しばらく歩くと右側に一軒入ったところにM田？君の家があり、ちょっと先の左角にK田T雄君の家がある。彼のうちは靴屋さんだったが今は3階建ての建物にK田という表札だけが出ている。おとなしく人のよきそうだった彼は今は沼袋のほうに住んでいるらしい。もう少し真直ぐ行って右の細い道に入る。確かこの辺にS木Hし君が住んでいたところがあったと思う。彼は背が高く、走りっこの小生のライバルであった。勝ったり負けたりは覚えていないがちゃんと走ったら叶わないだろうと思っていた。いつも2人は選手だった。もう少し奥に入るとちょっとの間通った絵画の先生の家（教室）があった。元の道を西に曲がり暫くすると右側にI島K太君の家がある。かなり広い土地でお父さんは工務店をしていた。彼はN大を出て跡を継ぎ、事業を上げ、その土地にも3階建ての大きな建物を建てた。しかしバブルでやられ、土地も家も他人の手に。ずっとクラスの世話役を買って出て何度もクラス会を開いてくれた。最後は不動産関係の会社に勤めていたが3年ほど前に亡くなった。保護司を長い間やって勲章ももらった。気が優しい奴だった。合掌。その3軒ほど先にS木S男君の家、青果店がある。彼のお父さんが始めた店で彼は後を継ぎ、弟も交えて繁盛させ、向かいの店も買収して今は息子や孫が手伝っている近所では評判の繁盛店である。S木君は地元消防団の長老で勲章も受けた。

我が家までは1年だけ通った幼稚園を通して200mくらい。小生の家の一筋西の奥にH塚T子さん（通称Tマちゃん）という一人っ子のちょっと可愛い同級生が今もいる。彼女がS木君の青果店に行くと彼はなんでも大負けしていたとクラブ会で3件隣の工務店のK太の言。

YMCA ニュース

江東コミュニティーセンター&幼稚園 江東YMCAの報告

▼幼稚園&コミュニティーセンタートピックス

▼オール江東ファミリースキー 3年ぶりに開催!

2月18日～19日、新潟県南魚沼市シャトー塩沢スキー場にて実施しました。8家族(在園児・プログラム参加家族)総勢36名の参加がありました。



江東OBOGリーダーの、しゃつ、だいきち、バニー、ドゥーイが参加。はじめて雪の中で遊んだ子、はじめてスキーに挑戦する子もいましたが、大人たちに見守られながら笑顔でチャレンジしていました。富徳旅館の美味しい食事、大人の懇親会も盛り上がりました。相川さん、大原さん、堀さん家族もご参加くださりありがとうございました。

▼ピンクシャツウィーク



全国YMCAで取り組んでいる、いじめ反対キャンペーン「ピンクシャツデー」が今年度は2月22日(祝日:水曜日)でした。江東YMCAでは、3月1日～3日をピンクシャツウィークとして考える「とき」をもちました。

「お互いのことをもっとよく知る」ことに意識を向けて【幼稚園の大好きな場所】に「だいすきのしるし♡」を貼る活動

しました。みんなの大好きな場所がわかると自分と同じ所や違うところが分かってきます。みんなちがってみんないい

▼第52回 ワイズカップサッカー大会

3月5日(日)、第52回ワイズカップサッカー大会が辰巳の森海浜公園少年広場にて開催されました。今回はキッズ(幼稚園年長)、小学1年生の2つのカテゴリーで行いました。キッズは10チームの参加、総当戦で順位をつけない形式で行いました。1年生の部は12チームが参加し順位決定戦まで行いました。

今年度は昨年度よりもさらにフェアプレー、前向きなコーチング、声掛けに焦点をあてて特別賞を贈呈いたしました。これから子どもたちのサッカー人生にフェアプレーの大切さが根付いていくことを願っています。閉会式では久しぶりに抽選会も行いました。

当日、大原会長はチーム引率・開会あいさつ・プレゼンターなど大活躍、高橋さんはYMCA幼児チームのリーダーとして、また酒向さんも駆けつけてくれました。改めて、江東ワイズメンズクラブからのご支援に感謝申し上げます。



江東センター&幼稚園の予定

- ▼江東YMCA幼稚園 年長組お別れ遠足:3月11日(土)
- ▼江東YMCA幼稚園 修了式:3月17日(金)
- ▼江東YMCA幼稚園 卒園式:3月18日(土)
- ▼コミュニティープログラム開始:4月7日(金)
- ▼江東YMCA幼稚園 始園式:4月10日(月)
- ▼江東YMCA幼稚園 入園式:4月11日(火)

オール東京の報告・今後の予定

1. 1月28日、「第17回子育て講演会」がオンラインで開催され、講師の大豆生田啓友氏(玉川大学教育学部教授)より「いまだきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ」をテーマにお話を伺った。子育て中の保護者を中心に約200名が参加し、好評であった。子育て講演会実行委員会(会員有志)が企画・運営を担い、25の企業・団体より協賛をいただいた。
2. 2月23日にははじめての試みとして、「東京YMCA全体職員研修会」がオンラインで開催され、約300名の職員が参加した。菅谷淳総主事より2022年度の事業について報告があり、続いて5つの事業部から日常の業務や取り組みを紹介するプレゼンテーションがなされた。法人や部署を越えて東京YMCAの働きが共有された。
3. 今後の主な行事日程
 - ・「職員就業礼拝」4月3日(オンライン)
説教:古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)
 - ・「第32回チャリティーゴルフ大会」4月13日 会場:PGM総成ゴルフクラブ
 - ・「東日本地区YMCA役員研修会」4月15日 オンライン
講師:寺島実郎氏(一般財団法人日本総合研究所会長/多摩大学学長)
 - ・「第20回会員大会」5月27日 会場:山手センター(予定)

今後の予定 2023年3月～3月

3月25日(土) 11:00～	役員会/江東センター
3月25日(土) 12:00～	本例会「桜を楽しむ」 江東センター
4月6日(木) 19:00～	第1例会/江東センター
4月15日(土) 時間未定	本例会(マレットゴルフ) 辰巳の森公園
4月27日(木) 19:00～	役員会/江東センター

編・集・後・記

最近では身近でコロナ感染を聞くことが減っています。3月に入って飲み会の機会も増えていますが、このまま収束してくれることを期待。Y.S.